

第5回尼崎市中核市推進本部会議議事概要

日 時 平成 20 年 9 月 5 日 10:20 ~ 10:55
場 所 4 - 1 会議室
議 題 各部会取組現況報告について 他
出 席 22 人

冒頭、都市政策課長より平成 20 年 9 月 2 日に本部長である白井市長が増田総務大臣を訪れ、本市の中核市指定に係る申出を行ったことを報告。その後、協議を行った。

1 各部会取組現況報告について

都市政策課長より会議資料の説明を行う。資料に記載している内容は決定事項ではなく、あくまで現時点の調整段階のものである旨を説明する。その後、各部会長（7部会）から、部会の取組や現況について、資料に基づき報告がなされた。（以下、質疑応答等）

- ・中核市移行に伴い、消防の高度救助隊を編成することとなるが、本市は、既に装備している高度救助用器具も多く、地震警報器のみを新たに装備することであるが、「地域の実情に応じて備えるものとする」と省令で定められている電磁波探査装置等は装備する必要はないのか。本市の実情はどうか。

電磁波探査装置は、JR福知山線の事故で大阪市消防局と警察が生体反応を測定した機材であり、必須整備ではない。本市は、大阪市との消防相互応援協定に基づき、当該装置を必要とする災害活動の応援要請により対応が可能である。

2 その他

- ・事務局から報告等はあるか。

今後のスケジュールについて報告する。まずは、先日の中核市指定申出を受けて、10月～11月には、本市を中核市に指定する政令が公布される予定。

また、政令公布の後、市においては、12月議会に中核市関連の条例案を提出するとともに1月から3月にかけて関連規則や要綱を整備し、3月末には、県と事務引継書の締結を行う。

手続きは以上のとおりであるが、来年4月の移行に向けて、市報を始め、機を捉えたPRを行っていきたい。なお、次回の中核市推進本部会議は、政令公布の頃としたい。

- ・いよいよ、来年4月には中核市に移行することとなる。県との事務の引継ぎなど、更に詳細、具体の準備を確実に進めていただくとともに、県に依頼すべきこと、また調整が必要なこと等、何か問題があれば事務局に相談してほしい。併せて、中核市移行準備においては、既存の事務の整理、見直しの視点を持って臨んでいただきたいと思う。
- ・また、新規採用職員の研修で中核市について取り扱った際、「尼崎市が中核市になるが、自分たちにはできないことはないかと考えている」など、前向きな意見が多く出されたこと

- 聞く。本人達の意識もあるが、職場の先輩の前向きな取組姿勢を見て良い影響を受けているとも思われ、うれしく思う。このように、意識を高めていっていただきたい。
- ・ 人員配置についても、市全体としては大きな人員削減の目標があるが、必要なところには必要な人員を配置していかなければならないため、十分に調整をお願いしたい。
 - ・ 中核市移行まで残り7か月を切った。全庁一丸となって取組を進めていきたいと思う。

以 上